



本のを、
生きるかに。



©Yoshifumi Kawabata 「おおきなかぶ」福音館書店

中期事業戦略と新体制のご案内

2019年7月



公益社団法人
シャンティ国際ボランティア会
Shanti Volunteer Association

会長 若林 恭英

結成から38年間、シャンティを支えていただき、心より感謝申し上げます。活動を継続できていますのも、ご支援者の皆さまのご支援の賜物です。心から厚く御礼を申し上げます。

経済的格差が生み出す教育格差、国境を超えた労働者や移民の問題、気候変動といった地球環境問題など、グローバル化の影で私たちが直面する社会課題は深刻化し、また複雑化しています。このような世界情勢の中、市民社会におけるNGOの役割も変換点を迎え、「変化すべきもの」、「守り続けるべきもの」を見極めて活動する必要があると実感しております。

この度、2019年からの6年間の中期事業計画を策定いたしました。この中期事業計画推進の中心的な役割を、新しい執行部である3名が担ってまいります。

専務理事	岡本 和幸 (おかもと わこう)
事務局長	山本 英里 (やまもと えり)
アジア地域ディレクター	八木澤 克昌 (やぎさわ かつまさ)

今後とも皆さまのご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



専務理事 岡本 和幸

シャンティ国際ボランティア会は創設より38年となります。これまで活動を続けることが出来たのは、皆様のご支援、ご協力、お力添えの賜物と、心より御礼申し上げます。

さて今般私どもは今後6年間の活動目標である「中期事業計画」を策定致しました。現在NGOは転換点にあります。支援国全般に絶対的貧困が減少傾向であるのに比例して、取り残される人々の課題は多大、複雑そして苛烈です。柔軟かつ強力な対応が必要とされています。理念的にも、知的にも、また経済的にも、私共も成長していかなければなりません。

現地の政府、自治体、現場の人々、そして国内の支援者の皆様、世界中の人々からもこれまで以上の信用、信頼を頂戴できるような活動を目指してまいりたいと思います。本年より地球市民事業課を創設し、海外の知見を活かして国内問題や国内緊急救援活動にもこれまで以上に、積極的に挑戦してまいりたいと思います。

また7月1日より執行体制を変更致しました。山本事務局長を中心に若い力を前面に、組織として前進してまいりたいと思います。

皆様ますますのご指導、ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。



事務局長 山本 英里

日頃よりシャンティ国際ボランティア会をご支援いただき厚く御礼申し上げます。この度、2019年7月1日付けで事務局長に就任いたしました山本英里です。

これまで長年積み重ねてきた現地の人々と向き合い、切磋琢磨しながら、時に時間がかかりながらも相互理解を高め、共に活動を進めて成果を見出していくアプローチを通じて、各国の行政や人々と顔の見える関係を築き上げてまいりました。

子どもの成長を止めることや、発達段階をスキップするわけにもいきません。すべての子どもが教育の機会を受けられるよう、変わるべきではないところは変わらず主張をしていくことも私たちの役割だと考えております。

ご支援くださる皆様一人一人の思いを受け止めながら、これまで以上に同じ目標を持つ様々なアクターの方々、専門機関の方々との連携を強化し、すべての子どもたちが教育の機会を得られ、安心して眠ることができる平和な社会を目指しともに取り組む仲間を作っていきたいと考えております。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



アジア地域ディレクター 八木澤 克昌

1980年7月にカンボジア難民支援ボランティアとして関わり以来、38年間にわたりタイ、カンボジア、ラオス、ミャンマー等の難民キャンプや都市のスラムや国境の少数民族、農村の支援の現場の最前線で関わらせて頂いています。

「平和」(シャンティ)とは、戦争や紛争がないだけでなく貧困、抑圧、差別、不公正、構造的な暴力がない状態であることを痛感しています。「銃ではなく絵本を」「教育が平和を創る」ことも各国の現場で見続けていました。

使命の「ミッション」、情熱の「パッション」夢の「ドリーム」。頭文字を略して「ミパド」を胸に秘めて、執行部の一員としてアジアの支援の最前線の現場から国境を超えて日本へ。また、アジア各国の現場と現場をつないで「誰一人取り残さない」「平和(シャンティ)な世界の実現のために関わっていく心算です。



シャンティとは



©aurinco

シャンティは、アジアで子どもたちへ本を通じた教育文化事業、緊急救援を行う国際協力NGOです。教育には人生を変える力があると信じています。私たちは、すべての子どもたちに教育の機会を届けるため、地域の文化や対話を大切にしながら、総合的な学びの場をつくっています。

◆シャンティが目指す姿

「共に生き、共に学ぶ」 平和な社会を

わたしたちの使命（ミッション）は、

人間の尊厳と多様性を尊び、

「共に生き、共に学ぶ」ことのできる

平和（シャンティ）な社会を実現すること。

世界には、紛争、貧困、自然災害などで教育を受けられない子どもたちがたくさんいます。その子どもたちを誰一人取り残さない。

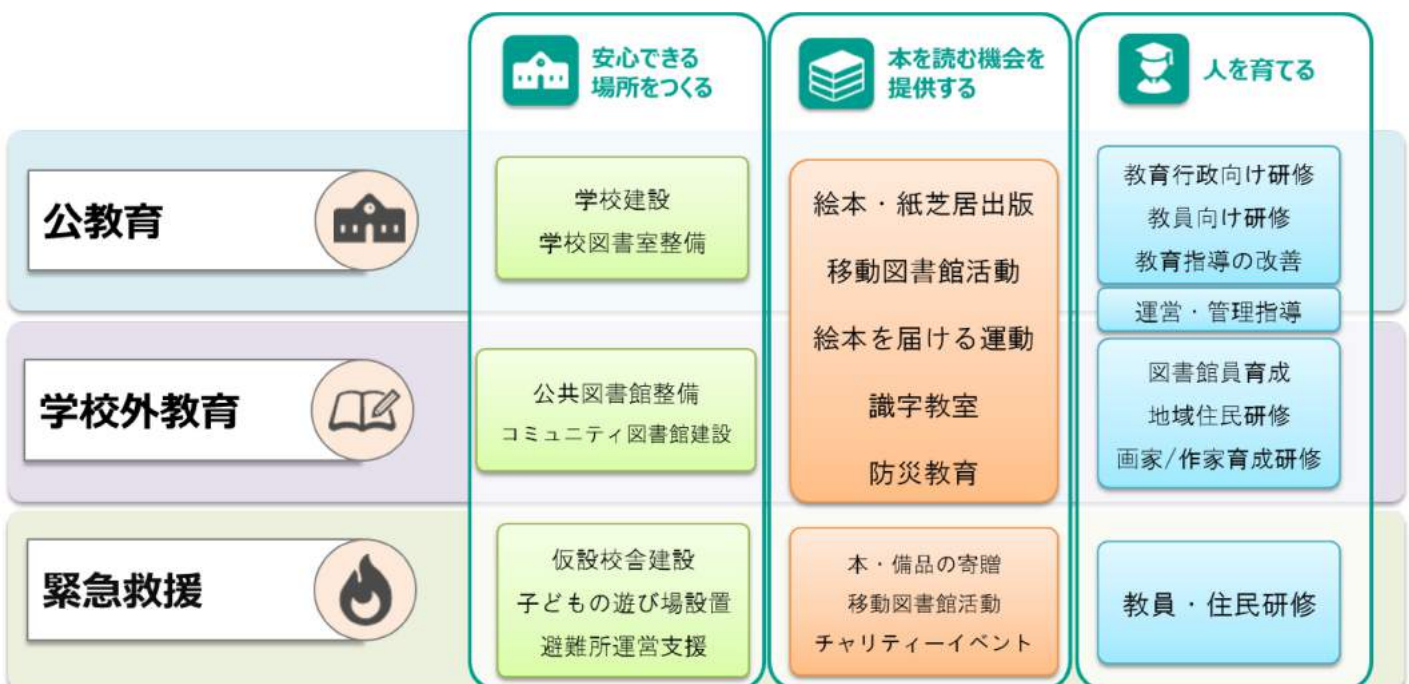
シャンティは、子どもたちが厳しい環境の中でも安心して学べる機会をつくります。本を通じて、人びとの考える力、創造する力を生み、伝統文化や価値観が尊重される社会を作ります。



「シャンティ」とは、サンスクリット語で「心の平和」「寂静」を意味しています。

◆活動の3本柱

「安心できる場を作る」「本を読む機会を提供する」「人を育てる」この3つの柱のどれが欠けてもシャンティの活動は成り立ちません。国や地域の状況に合わせて、教育行政と連携しながら、公教育、学校外教育現場で活動を行っています。



シャンティのあゆみ



1980年にカンボジア難民の緊急救援活動として、曹洞宗東南アジア難民救済会議（JSRC）が設立されました。1981年の緊急救援活動プロジェクトの終了にあたり、JSRCのボランティアの有志が、シャンティを立ち上げました。1981年の創立以来、共に生き、共に学ぶことのできる平和な社会を目指し課題と向き合ってきました。

◆ シャンティのあゆみ

- 1980 前身の曹洞宗東南アジア難民救済会議（JSRC）設立
カンボジア難民支援開始
タイ事務所開設
- 1981 曹洞宗ボランティア会（SVA）結成
- 1991 カンボジア事務所開設
- 1992 ラオス事務所開設
- 1995 阪神・淡路大震災を受け緊急救援を開始
- 1999 社団法人シャンティ国際ボランティア会
- 2000 ミャンマー（ビルマ）難民事業事務所開設
- 2003 アフガニスタン事務所開設
- 2011 東日本大震災復興支援活動を開始
- 2014 ミャンマー事務所開設
- 2016 ネパール事務所開設
- 2019 ミャンマー国境支援事業事務所開設



カンボジア難民キャンプ（カオイダンキャンプ）の図書館



アフガニスタン プラスターに従事する作業員

◆ 未来を切り拓いたストーリー

スラム出身の私でも、世界を舞台に道は開ける

オラタイ・プーブンラップ・グナシーランさん(タイ/タイ大使館 一等書記官)



私が図書館で絵本と出会ったのは4歳の頃でした。図書館は偶然にも、スラムの私の家の隣に建てられました。昼間は学校、夜はお店や家事の手伝いがあり、睡眠時間も5時間取れるか、取れないかの大変忙しい毎日でした。その合間に訪れる図書館が私の心のよりどころになりました。

毎日、図書館に行くのが楽しみで、当時約1万冊あった絵本、小説、参考書などはすべて、端から読みきってしまいました。特に夢中になったのは旅行記でした。自分もいつかこのスラムを抜け出して、まだ見ぬ世界を見てみたいと強く、夢みるようになりました。

その後、中学、高校時代にシャンティの奨学金を受け、高校2年生でアメリカへ留学しました。高校3年生の時には、フランス語のスピーチコンテストで優勝することもできました。

高校卒業後は、タイの名門といわれる国立チュラロンコン大学文学部に主席に近い成績で合格を果たしました。そして、大学1年生の時に、倍率約100倍のタイ政府の外交官養成試験に合格したのです。

現在、私は在モスクワのタイ大使館に勤務する一等書記官です。得意の英語、フランス語、ロシア語を生かして、将来、アメリカやオーストラリア、または日本で外交官の仕事をしていきたいなと思っています。専門であるロシアと各国を比較してみたいとも思っています。



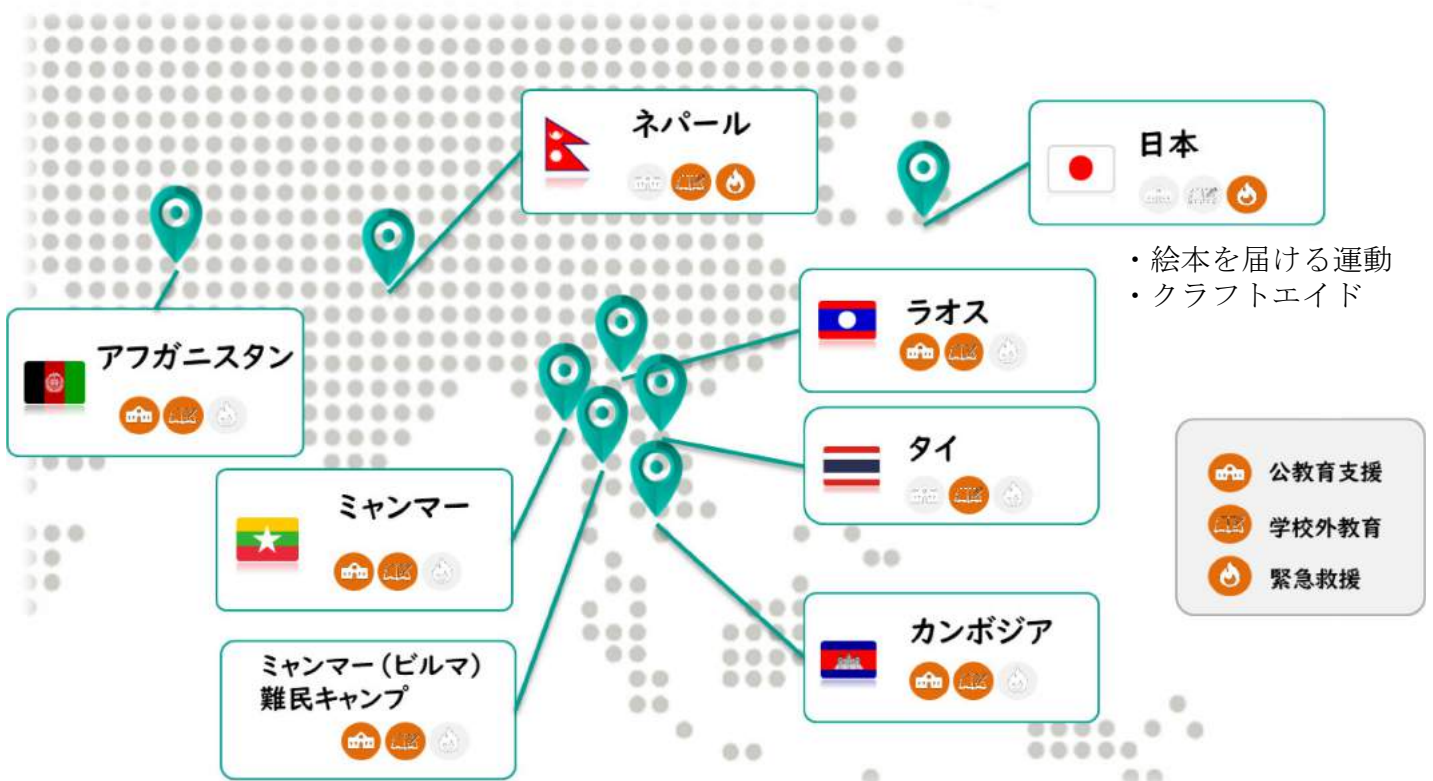


阪神・淡路大震災をきっかけに国内外での緊急救援活動を行っています。紛争や災害後に豊かな生活を取り戻す・基本的人権を守るためには教育の復興が欠かせないものです。わたしたちは、緊急救援を重要事業と位置づけ、スフィアスタンダード(*1)・ INEE (*2)などの国際基準に則った活動をしています。

◆活動地域

アジアに広がるシャンティの活動

2019年までに、アジア6カ国・8地域に活動が広がっています。



◆日本での活動

絵本を届ける運動



「絵本を届ける運動」とは、子どもの本が足りない地域に、日本の絵本に翻訳シールを貼り付け、子どもたちが母語で読める絵本となったものを届けます。絵本を届ける先はカンボジア、ラオス、ミャンマー、ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ、アフガニスタン、タイ。

手軽に参加することのできる国際協力として、多くの方に長年親しまれ、1999年から30万冊を超える絵本を送り出しました。日本では10万人以上が活動に参加しました。

クラフトエイド

クラフトエイドは、1985年にタイ東部のラオス難民キャンプ内で作られた手工芸品を日本で紹介したことから始まりました。

タイ、カンボジア、ラオス、アフガニスタンの生産者たちが、それぞれの伝統技術を活かして手作りの製品を日本で販売しています。

購入することで生産者の経済的自立を手助けできる「お買い物のできる国際協力」です。



活動成果

1981年の創立以来、共に生き、共に学ぶことのできる平和な社会を目指し課題と向き合ってきました。現地と共に積み上げてきた実績は、ゆっくりと確実に広がっています。絵本を届ける運動は今年で20年を迎えます。毎年400以上の企業・団体、1,700人以上の個人が参加する、シャンティの基幹事業のひとつです。



◆絵本を届ける運動 20周年

届けた絵本 **312,236** 冊

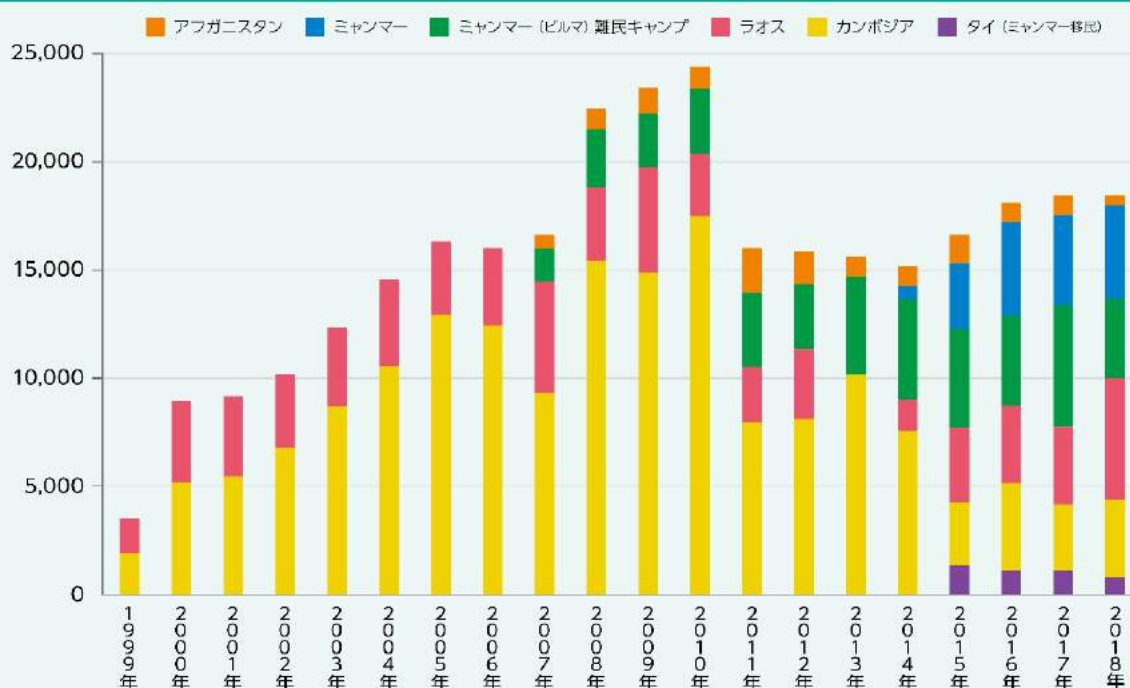
タイトル数 **266** タイトル

連携出版社数 **34** 社

参加人数

延べ **247,281** 人 企業・団体 **1,245** 件

1999年～2018年までに届けた絵本 312,236 冊



◆成果、受賞歴



研修参加者 **33,202** 人



絵本出版 **493** タイトル
届けた絵本 **312,236** 冊
図書館利用者 **1,348万** 人



学校建設 **403** 校
図書館・図書室 **876** 館



緊急救援出動回数 **67** 回
海外41回 国内26回

正力松太郎賞	1984
ソロブチミスト日本財団賞	1985
外務大臣賞	1988
毎日国際交流賞	1994
東京都豊島区感謝状	1995
防災担当大臣賞	2004
兵庫県知事感謝状	2005
第七回井植記念「アジア太平洋文化賞」	2008
宮城県社会福祉協議会感謝状	2011
ESD岡山アワードグローバル賞	2015

2018年末までの実績



シャンティとSDGs

持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）は、2015年国連総会で採択された「持続可能な開発」を達成するための行動指針です。環境、社会、経済が、持続可能であるべき3つの柱となっています。

◆SDGsとのつながり

2030年までの達成を目指す「持続可能な開発目標（SDGs）」

2015年9月、“Leave no one behind”(誰一人取り残さない) をキーワードに、国連サミットでこの目標が採択されました。

先進国、途上国を問わず、世界の共通目標として、2030年までの達成を目指しています。

シャンティ国際ボランティア会は、1981年の設立以来一貫して活動を続けて来たのは、教育が持続可能な未来づくりには欠かせないものだと考えているからです。

SDGs目標4は、一言で言えば「質の高い教育をみんなに」ですが、この目標が達成できた際の波及効果は計り知れません。教育を受けることによって、貧困から抜け出すことにつながったり（目標1）、女の子だからと言って不利な状況に置かれることがなくなるようになったり（目標5）ということが考えられます。

持続可能な未来社会を今を生きる私たち、さらには私たちの子どもや孫たちがつuckingいけるかどうかは、この目標4にかかっているとと言っても過言ではありません。



**シャンティが関係している
主なSDGsの目標**

4
質の高い教育を
みんなに

目標4
すべての人に包摂的かつ
公正な質の高い教育を確保し、
生涯学習の機会を促進する

◆ SDG Compass SDGsの企業行動指針より抜粋
SDGs(持続可能な開発目標)は、2030年に向けた持続可能な開発に関する地球規模の優先課題や世界のあるべき姿を明らかにし、一連の共通の目標やターゲットを軸に、地球規模の取組みを動員しようとするものである。
*1) http://sdgcompass.org/wp-content/uploads/2016/04/SDG_Compass_Japanese.pdf



2019-2024 中期事業計画

シャンティは、1981年の設立以来一貫して、教育が持続可能な未来づくりに欠かせないと考えています。2015年9月に採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」達成に寄与するため、6年間の中期事業計画に基づき、新しい事業を展開します。

◆これからシャンティが注力する4つの領域◆

1. 専門性を高め、新たな海外事業を展開します

絵本やおはなしを軸とした読書推進、ライフスキル教育を強化します。

- ① 読書推進やライフスキルに寄与するシャンティの図書館活動のノウハウをパッケージ化し推進するとともに、ノンフォーマル教育分野（成人識字教育、貧困削減等）においても活用していきます。
- ② 国内外の緊急人道支援において、「緊急下の教育」や「子どもの保護」に寄与する図書館活動に積極的に取り組みます。
 - ・2019年 アフガニスタンでの緊急人道支援事業を開始
- ③ アジア地域以外での緊急人道支援、新しい国や地域においてもシャンティの経験を活かした事業や活動の展開を推進します。
 - ・2019年 ミャンマー国境支援事業事務所を設立、事業を開始

2. 日本国内での新規事業を推進します

アジアでの経験と学び、つながりを活かし、日本における子どもの貧困、在日外国人が抱える課題を解決するため、事業を推進します。

3. 政策提言、パートナーシップを強化します

子どもの権利条約第28条、29条「教育の目的」達成に寄与することを目的とします。

- ① 読書推進を行う企業、団体との連携を強化します。
 - 図書館、出版社、大学、企業、専門家とともに、事業や活動成果の検証、効果測定を行い、調査研究の成果を公表します。
- ② 事業国において、シャンティのおはなしや読書推進の手法を含む提言書を作成し、各国の教育政策の改善に寄与します。
- ③ 市民が参加でき、共感を生む絵本を届ける運動ワークショップなどの取り組みを促進します。
 - また、国内外において、市民との交流やスタッフ同士のコミュニケーションを強化します。
- ④ 日本政府によるSDGs 4 達成のための国際協力の取り組みが強化されるため、他団体とも連携し、目標達成のためのキャンペーンを実施します。

4. 組織の国際化を目指します

- ① 国内外の事業に力を注ぐため、組織基盤を強化します。
- ② 個々のスタッフの能力開発を行い、次世代リーダーの育成を行います。
- ③ 国を越えた国際職員の配置を目指し、多様な働き方に柔軟に対応できるように制度を整えます。
- ④ 国内外での団体の認知を高め、多様な財源を確保します。

組織概要



シャンティは、アジアで子どもたちへ本を通じた教育文化事業、緊急救援を行う国際協力NGOです。教育には人生を変える力があると信じています。私たちは、すべての子どもたちに教育の機会を届けるため、地域の文化や対話を大切にしながら、総合的な学びの場をつくっています。

◆組織概要

名称	公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会 Shanti Volunteer Association
設立年月	1981年12月10日
事務所	〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3階 TEL : 03-5360-1233 (代表) FAX : 03-5360-1220
代表者	会長／若林 恭英
会員数	1,643人 (国内) / 寄付者数 個人5,297人 団体1,865団体
職員数	163人 (日本人職員47人、現地職員116人) ※2019年4月1日時点
事業内容	図書館事業／学校建設事業／緊急救援
事業連携	外務省「日本NGO連携無償資金協力」、国際協力機構(JICA) 「草の根技術協力事業」、ジャパン・プラットフォーム(JPF)
後援	文部科学省、公益社団法人日本図書館協会、 公益社団法人読書推進運動協議会



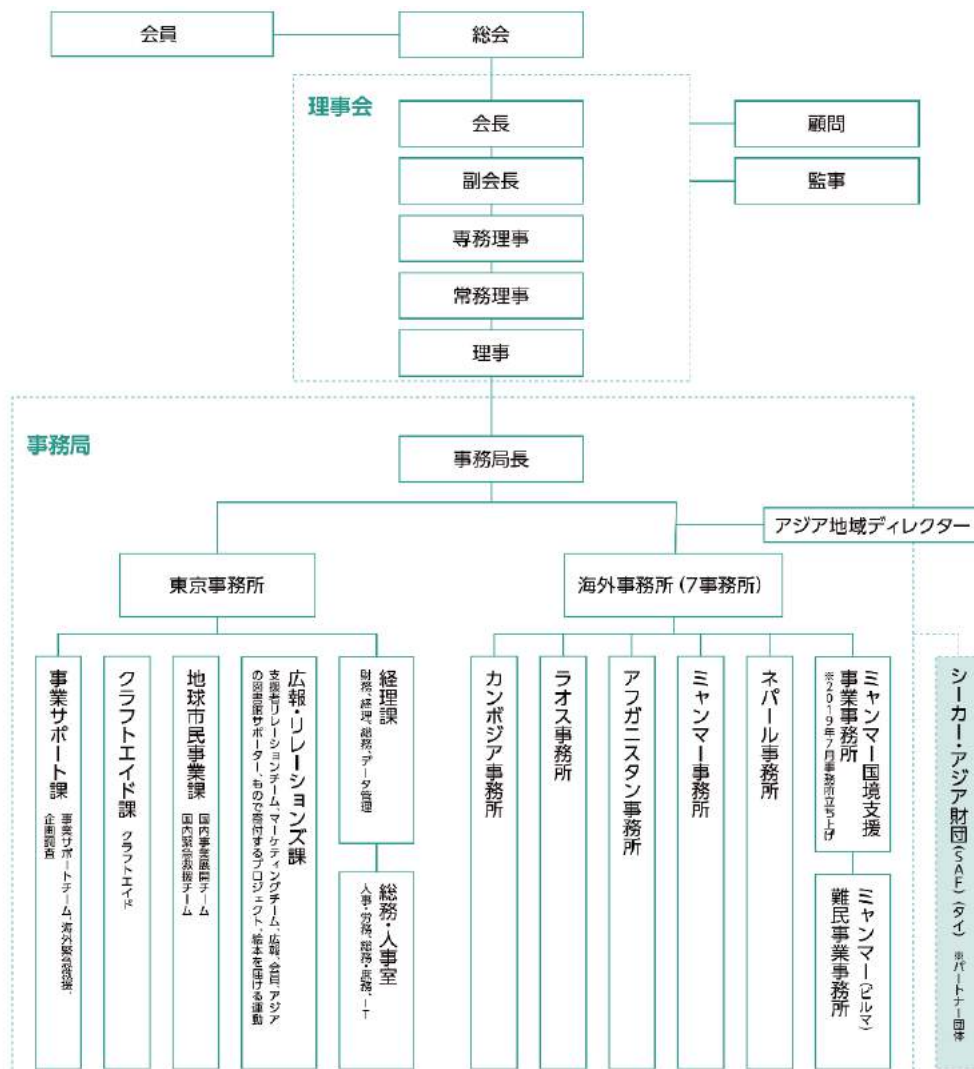
2013年3月、NGOがアカウンタビリティの状態を自己診断する「アカウンタビリティ・セルフチェック2012」を実施し、「アカウンタビリティ・セルフチェック2012」の認証マークを取得しました。



税制上の特定公益増進法人に該当し、当会への寄附・募金につきましては税制上の優遇措置（寄附金控除）が受けられます。

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会は、当会監事による監査および田中義幸公認会計士事務所による財務諸表の外部監査を受けております。

◆組織図



◆ 経営体制 ◆ 2019年7月1日付

顧問

足立 房夫 一般社団法人協力隊を育てる会 顧問
公益社団法人東京都障害者スポーツ協会 顧問
阿部 豊 淳 宮城県・光寿院 住職
小野田 全宏 特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会 常務理事
川原 英照 熊本県・蓮華院誕生寺 貫主
特定非営利活動法人れんげ国際ボランティア会 会長
白石 孝 荒川区職員労働組合 顧問
笹岡 賢司 静岡県・龍谷寺 住職 曹洞宗静岡県第四宗務所 所長

参与

鬼生田 俊英 曹洞宗宗務総長
小林 昌道 大本山永平寺 監院
乙川 映元 大本山總持寺 監院

専門アドバイザー

大菅 俊幸 曹洞宗総合研究センター 講師
鎌倉 幸子 かまくらさちこ株式会社 代表取締役
高田 博嗣 日本放送協会 (NHK)
手束 耕治 カンボジア宗教学省仏教研究所 顧問
藤谷 健 朝日新聞 東京本社 編集局長補佐

理事・監事

会長 若林 恭英 長野県・安楽寺 住職
副会長 神津 佳予子 有限会社ケイアンドアイ 代表取締役社長
副会長 三部 義道 山形県・松林寺 住職
専務理事 岡本 和幸 千葉県・真光寺 住職
常務理事 茅野 俊幸 長野県・瑞松寺 住職
常務理事 早坂 文明 宮城県・徳本寺 住職
常務理事 秦 辰也 近畿大学国際学部 教授
理事 有馬 嗣朗 山口県・原江寺 住職
理事 下澤 嶽 静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科 教授
理事 竹俣 昭孝 東京都・大林院 住職
理事 浜野 隆 お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系 教授
理事 八木澤 克昌 シャンティ国際ボランティア会 アジア地域ディレクター
理事 山本 英里 シャンティ国際ボランティア会 事務局長
理事 渡邊 智恵子 株式会社アバンティ 代表取締役会長
監事 野中 茂 野中公認会計士事務所 公認会計士
監事 中山 雅之 国士舘大学大学院グローバルアジア研究科 准教授

◆ 事務局体制 ◆ 2019年7月1日付

執行部

専務理事 兼 クラフトエイド課 課長 岡本 和幸
事務局長 兼 アフガニスタン事務所 所長 山本 英里
アジア地域ディレクター(タイ・バンコク) 八木澤 克昌

経理課 (課長 兼 総務・人事室長 吉川 剛)

[財務、経理、総務、データ管理]
瀧 龍太郎、猪又 佐奈江

総務・人事室

[人事、労務、総務、庶務、IT]
山本 栄吉 (チーフ)、小林 裕司

事業サポート課 (課長 菊池 礼乃)

[海外事務所との連絡窓口、公的資金、海外緊急救援]
浅木 麻梨耶、石塚 咲、岩松 智子、栗原 陽紀、
栗本 愛、竹本 舞、黒田 弘啓、柴田 茂寛、谷島 緑

地球市民事業課 (課長 関 尚士)

[国内事業、国内緊急救援]
渡邊 珠人、飯嶋 麻里、加藤 由里子

広報・リレーションズ課 (課長 鈴木 晶子)

[民間支援者窓口、絵本を届ける運動、会員、
サポーター、ファンディング全般、広報]
支援者リレーションチーム 山室 仁子 (チーフ)
吉田 圭介、野口 早苗、日比 洸紹
マーケティングチーム 平島容子 (チーフ) 広報 沼田 安宏

クラフトエイド課 (課長 岡本 和幸)

[フェアトレード事業]
渡辺 ちひろ (課長補佐)、嘉味田 倫慧、高橋 布美子

カンボジア事務所

所長：加瀬 貴 駐在員：川村 圭

ラオス事務所

所長：玉利 清隆

ミャンマー事務所

所長：市川 斉 駐在員：伊藤 杏子

ミャンマー国境支援事業事務所

所長：中原 亜紀 駐在員：山内 乃絵

ミャンマー (ビルマ) 難民事業事務所

所長代行：セイラー・ラウワルン

アフガニスタン事務所

所長：山本 英里 所長代行：ワヒド・ザマニ

ネパール事務所

所長：三宅 隆史

[パートナー団体]

シーカー・アジア財団 (タイ・バンコク)



本のを、
生きるかに。



公益社団法人
シャンティ国際ボランティア会
Shanti Volunteer Association

〒160-0015 東京都新宿区大京町 31 慈母会館 2・3 階
TEL 03-5360-1233 FAX 03-5360-1220
Email info@sva.or.jp URL www.sva.or.jp